



IWASAKI 照明器具取扱説明書

保管用

サイン広告用LED照明器具

■製品概要

器具形式	定格光束	消費電力[W]			入力電流[A]			質量	光源色
		100V	200V	242V	100V	200V	242V		
EBL20206AD/DSAN9	1900lm	15.8	15.8	15.9	0.159	0.084	0.072	3.7 kg	6500K(昼光色)相当
EBL20206AD/NSAN9									5000K(昼白色)相当
EBL20209AD/DSAN9	2660lm	22.1	22.1	22.2	0.223	0.115	0.098	5.2 kg	6500K(昼光色)相当
EBL20209AD/NSAN9									5000K(昼白色)相当
EBL20212AD/DSAN9	3470lm	28.5	28.5	-	0.287	0.150	-	6.7 kg	6500K(昼光色)相当
EBL20212AD/NSAN9									5000K(昼白色)相当
EBL20218AD/DSAN9	5080lm	42.0	41.3	41.6	0.424	0.217	0.181	9.7 kg	6500K(昼光色)相当
EBL20218AD/NSAN9									5000K(昼白色)相当

仕様

- 使用周囲温度:-40℃~40℃ ●定格電圧:100~242V ※EBL20212ADは100~200V ●定格周波数:50/60Hz
- 保護等級:噴流型(IP55) ●取付け:下向き専用
- 口出線:ラバーシースケープル 0.75mm²×3心 器具外750±100mm 先端はんだ処理

■器具の配線工事は必ず工事店、電器店(有資格者)などが行ってください。
資格のない人の配線工事は法律で禁止されています。

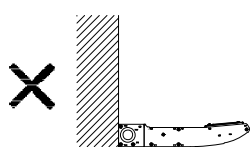
施工説明

施工者様へ、この取扱説明書は、ご使用になるお客様に必ずお渡しください。

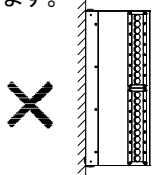
施工者様への安全上のご注意

警告 製品の取扱いを誤った場合、死亡又は重傷を負うことが想定される危害の程度を示します。

- 施工は取扱説明書に従って正しく行ってください。施工に不備があると、火災、感電、落下のおそれがあります。
- 器具の取付けは器具質量に耐える場所に確実に取付けてください。施工に不備があると、火災、感電、落下のおそれがあります。
- 電源接続は、取扱説明書に従って確実に行ってください。火災、感電のおそれがあります。
- この器具は下向き専用です。上向き取付け、縦取付けはしないでください。落下による事故のおそれがあります。



上向き取付け



縦取付け



設置・施工

- 接地工事は電気設備技術基準(D種接地工事)に従って確実に行ってください。接地が不完全な場合、感電のおそれがあります。



設置・施工

- 器具を分解や改造をしないでください。火災、感電、落下のおそれがあります。



保守・点検

- 振動や衝撃の多い場所、腐食性ガスや可燃性ガスの発生する場所、湿度85%を超える場所、可燃材が近接する場所、粉塵の多い場所、油類、薬品などが付着する場所、塩害地域では使用しないでください。火災、感電、落下のおそれがあります。
- 器具周辺に硫黄成分が存在する場所では使用しないでください。光学性能に影響を与える場合があります。
- つららのできるようなことがある場合には、つららの除去を行ってください。つららの落下によるけがのおそれがあります。



使用環境

- 器具の上に物をのせる、人が乗る、ぶら下がる、飛び乗るなどの荷重をかける行為をしないでください。器具の破壊、落下の原因となります。
- 器具を布や紙などの燃えやすいものでおおったり、かぶせたりしないでください。火災のおそれがあります。



使用方法

- 部品類が破損した場合はそのままの状態で使用しないでください。火災、感電、落下のおそれがあります。



保守・点検

注意 製品の取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか又は物的損害が想定される危害・損害の程度を示します。

- 定格電圧(定格±6%以内)、使用地域の周波数は、器具取付けの際に必ず確認してください。誤って使用すると、火災、焼損、短寿命の原因となることがあります。
- 周囲温度は-40℃~40℃の範囲で使用してください。火災、感電、点灯不良の原因となることがあります。
- 器具の耐風速は60m/sですので、それ以上の風速を受ける場所では使用しないでください。
- 直射日光の当たる状態など器具が熱せられる状態では点灯しないでください。点灯不良の原因となることがあります。



使用環境
使用条件

- 絶縁抵抗測定を行う場合は、絶縁抵抗のレンジを250Vに設定して測定してください。500Vレンジで測定すると正常な値が測定できません。



保守・点検

- 器具の運搬時に電線を持たないでください。器具の故障の原因となります。
- 取付面は器具の質量に耐える場所に施工してください。器具の質量に耐えられない場所に施工すると、火災、感電、落下の原因となることがあります。



設置・施工

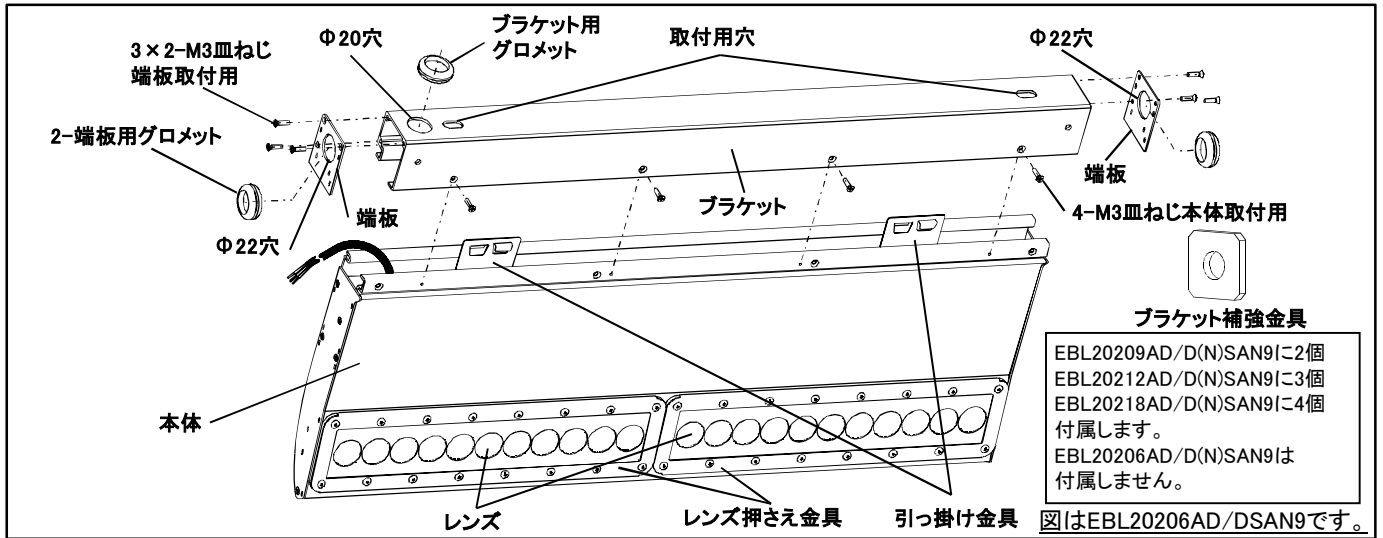
- 器具に1mを超えて積雪する可能性がある場所では雪の除去を行ってください。落下、絶縁不良、感電の原因となることがあります。
- 冠水のおそれのある場所では使用しないでください。火災、感電、浸水の原因となることがあります。
- 箱や布で覆った状態では使用しないでください。火災、焼損、短寿命の原因となることがあります。
- 草や木で覆われる場所、器具の周りに枯葉やごみのたまる場所では、使用しないでください。火災の原因となることがあります。



使用環境

EM002205

■器具各部の名称 [下の全体図は一部を抽象化した構造図です]

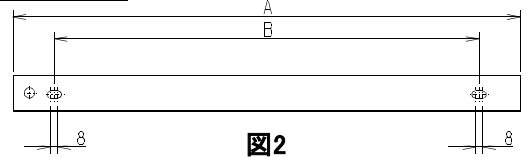
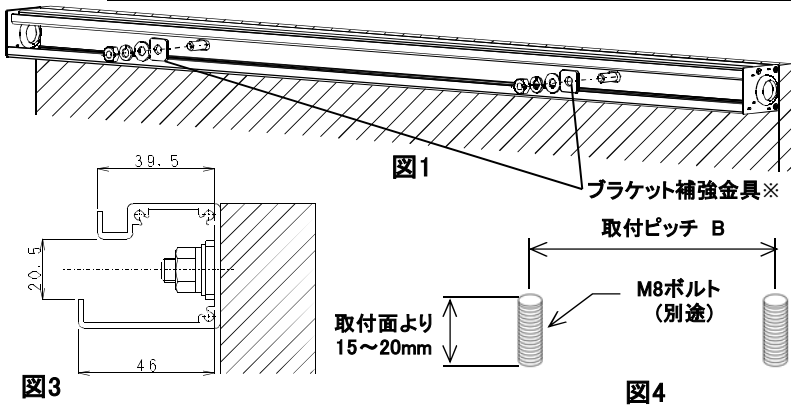


■照明器具の取付方法

1. ブラケットの取付

- ・本体取付用ねじ(4本)を外し、本体とブラケットを分離させてください。
- ・器具のブラケットには図2のように取付穴が設けてありますのでM8ボルトにブラケット補強金具、平座金、ばね座金、六角ナットの順にいれ、緩みのないように、確実に締付けてください。(図1) ※EBL20206AD/D(N)SAN9にブラケット補強金具は使用しません。
※ブラケットの取付けにタッピンねじやドリルねじなどは使用しないでください。
- ・ブラケットはゆがみのないように取付けてください。
取付面の平面度によっては、ブラケットが変形して本体が取付けできない場合があります。
ブラケットが変形してしまう場合にはシム板などで調整してください。
※シム板などを使用する場合は、シム板が落下しないように施工してください。
- ・電食防止の為、ボルト(アンカーボルト含む)、平座金、ばね座金、六角ナットは亜鉛系めっき処理のものを使用してください。
- ・使用する工具は外径Φ20mm以下のソケットレンチ、ボックスレンチなどを使用してください。
また、ボルトの長さによってディーソケットを使用してください。(図3)
- ・壁面などの構造物平面に直接取り付ける場合は、ブラケット用グロメットを使わずに、図5の取付穴数以上で緩みのないように確実に締付けてください。
- ・取付ボルトは、図4、図5のボルト長さ、ピッチにしてください。
締付けが不十分な場合、器具の落下による事故の原因となることがあります。

【施工手順】の動画はこちら

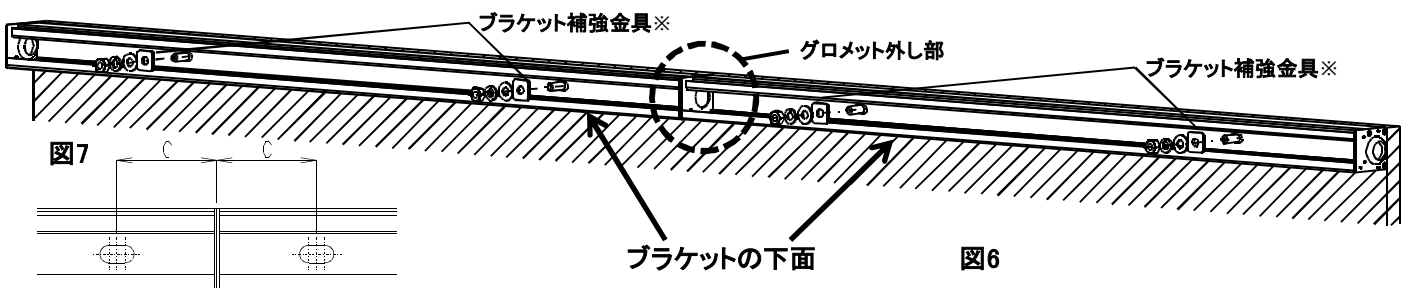


形式	全長 A[mm]	取付ピッチ B[mm]	連結時 C[mm]	取付 穴数
EBL20206AD	597	500	48.5	2
EBL20209AD	895.5		197.8	
EBL20212AD	1194		97	3
EBL20218AD	1791		145.5	4

図5

・接続する場合

- ・接続部の端板用グロメットを外し、M8ボルトにブラケット補強金具、平座金、ばね座金、六角ナットの順にいれ、ブラケットの下面の高さが一致するように、緩みのないよう確実に締付けてください。(図6)
- ・取付寸法は図5、図7のようにしてください。 ※EBL20206AD/D(N)SAN9にブラケット補強金具は使用しません。



2. 結線方法

※口出し線に接続するケーブルは600Vキャブタイヤケーブルと同等以上の性能を有する3心ケーブルを使用してください。

- ・本体の引っ掛け金具をブラケットに図8のように引っ掛け、配線工事を行ってください。
- ・グロメットの中心部に穴を空け、電源線を引き込んでください。
- ・器具の口出し線(茶、青)に電源線を結線してください。
- ・口出し線は3心のうち、緑/黄がアース線です。D種接地工事を行ってください。
- ・接続方法について

①器具口出し線の末端は、はんだ処理されております。

防水形ジョイントボックス(別途)を用いて、差込み型の端子台(別途)を使用するか、防水中継コネクタ(別途)を使用することを推奨します。

※防水中継コネクタを使用する場合、ケーブルの経路が水平となるように施工してください。

②圧着スリーブなどで接続される場合は、はんだ処理部を切断し電線の被覆をむき、結線を行ってください。

結線後、自己融着テープで処理し、自己融着テープの上から絶縁テープを巻きつけて確実に絶縁及び防水処理を行ってください。アース線も防水処理を行ってください。(図9)

ブラケット内で結線する場合、突き合わせ配線で結線してください。(図9)

不十分な場合、電線からの浸水による絶縁不良や、LED不点の原因となることがあります。

※口出し線の接続は電気設備基準・解釈及び、内線規程に従ってください。

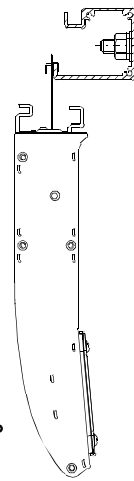
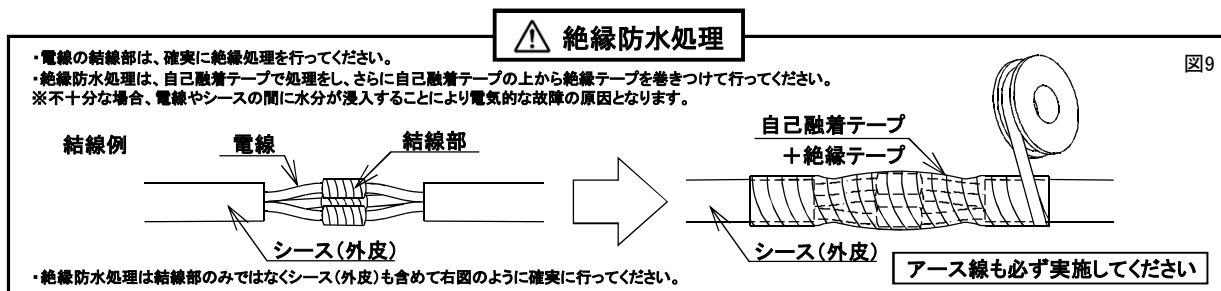


図8



・口出し線の引回しについて

器具設置上、口出し線を器具から曲げて引回す場合は、器具の口出し線根元部分の急な屈曲を避けてください。

・接続する場合

器具間送り配線は端板の穴を使用してください。(図10)

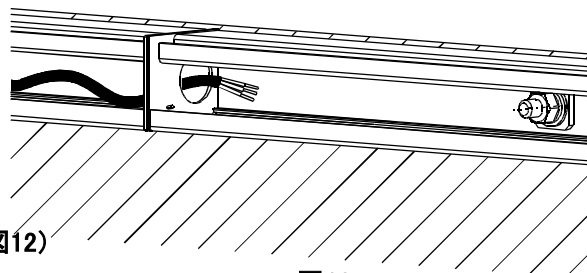


図10

3. 本体の取付

・本体を図11のような手順でブラケットに取付けてください。

※取付ける際にブラケットと本体の隙間(図11のA部)に口出し線を挟み込まないように注意してください。

・ブラケット取付け時に外した、M3皿ねじ(4本)で固定してください。(図12)

(締付けトルク 0.57~0.63N・m)

・取外す際は逆の手順で行ってください。

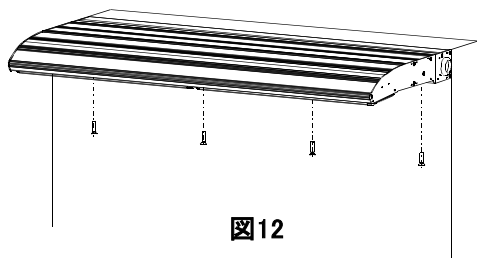
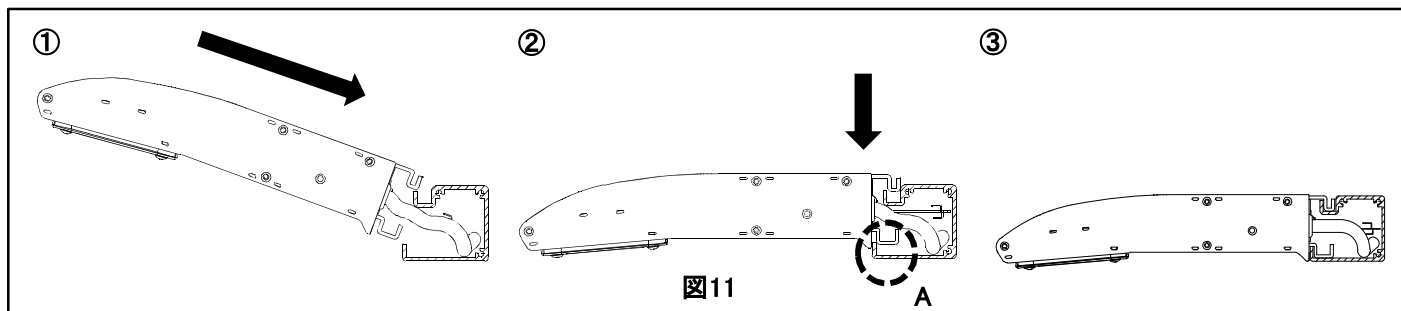


図12





4. 看板面への汚れ防止





・構造物とブラケットの間に隙間が空き、雨だれによる看板面への汚れが懸念される場合は隙間にシーリングを施し、看板面への汚れを防止することを推奨します。

取扱説明**お客様へ、この取扱説明書は必ず保管してください。**

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お客様への安全上のご注意

警告 製品の取扱いを誤った場合、死亡又は重傷を負うことが想定される危害の程度を示します。	
<ul style="list-style-type: none"> ●LED点灯中及び消灯直後の器具は、高温になっていますので触らないでください。やけどのおそれがあります。  <p>保守・点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●器具の改造や部品の交換はしないでください。火災、感電、落下のおそれがあります。  <p>保守・点検</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●万一、煙が出たり、異臭がするなど異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店又は工事店にご相談ください。異常のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。  <p>修理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●レンズなどの部品類が破損した場合はそのままの状態で使用しないでください。火災、感電、落下のおそれがあります。 ●つららができるようなことがある場合は、つららの除去を行ってください。つらら落下によるけがのおそれがあります。  <p>保守・点検</p>

注意 製品の取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか又は物的損害が想定される危害・損害の程度を示します。	
<ul style="list-style-type: none"> ●お手入れの際は、必ず電源を切って、器具が十分冷えてから行ってください。感電、やけどの原因となることがあります。  <p>保守・点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●レンズは取扱いに注意してください。破損によるけがの原因となります。破損した場合、すぐに電源を切り、交換してください。  <p>保守・点検</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●照明器具には寿命があります。一般的な使用場所では、設置して8～10年経過すると外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。※使用条件：周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯(JIS C 8105-1 解説による。) ●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。  <p>寿命</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●1年に1回は「安全チェックシート」による自主点検を行ってください。「安全チェックシート」は(一社)日本照明工業会のホームページ(https://www.jilma.or.jp)をご覧ください。 ●3年に1回は工事店などの専門家による点検を行ってください。  <p>保守・点検</p>


■使用上の注意

- LEDにはばらつきがあるため光色及び明るさが各LED素子ごとに異なる場合がありますが、ご了承願います。
- 点灯直後、消灯直後にプラスチックの伸縮によるきしみ音が発生する場合がありますが、故障や異常ではありません。

■保証について

- この照明器具の保証期間は、商品お買上げ日より5年間です。消耗品は対象外とさせていただきます。【保証開始日より3年間、無償修理(交換)または同等品を無償提供します。4年以降の2年間、同等品を無償提供します。取付け・取替えの交換費用、修理費用は含まれません。】
- ※保証の例外
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、保証期間及び条件に従い、無償修理(交換)もしくは無償提供などの処置をさせていただきます。製品カタログをご確認ください。
- 修理に関する相談は、お買上げの販売店様(工事店様)又は、最寄りの弊社営業所へお問合せください。

■保守上のご注意

- 器具の清掃時には安全上のご注意を再度ご確認ください。
- 器具の清掃(お手入れ)・・・汚れを落とす場合は、中性の石けん水を浸したやわらかい布をよくしぼって拭取り、石けんが器具に残らないように乾いた布で仕上げてください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもの及び酸・アルカリ性の洗剤などで拭いたり、直接殺虫剤をかけたりしないでください。変質によるパネルの破損や器具変色の原因となることがあります。
- 
- 保守・点検

お客様へ 保守のために、下記施工記録表をご確認のうえ、適切な保守部品をお求めください。
なお、安全のため保守作業は、できるだけ施工者にご依頼ください。

■保守のための記録 工事完了後、今後の施設の安全維持のため「施工記録表」に記録のうえ、お客様にお渡しください。

施 工 記 録 表		
工事名:	取付年月:	使用電圧:
工事店名:	器具形式:	ブレーカNo.:
電話番号:	取付台数:	

■商品に関するご相談窓口 (お問合せの際は、器具銘板又は施工記録表で器具形式をご確認のうえご連絡ください)

【CSセンター】 電話番号 048(554)1124 FAX 048(554)7445

お問合せ受付時間：月～金/9:00～17:00(土・日曜・祝日・年末年始・当社休業日を除く)

※電話番号など、変更になる場合があります。ホームページでご確認ください。 <http://www.iwasaki.co.jp/>